

第 11 分科会「患者のための臨床検査」

◇運営委員 三谷智恵子（全日赤 成田赤十字病院労組）
多比良卓志（京都医労連 検査対策委員会）
大竹伸哉（済生会新潟第二病院労働組合）

◇分科会趣旨／問題提起

この分科会では午前中は皆さんから寄せられたレポート報告と討議をすすめ、午後はレポートをもとに運営委員が課題を決めて討議を進めていきます。昨年の課題は「年休取得向上のために必要な増員」「各種資格取得と手当」「臨床検査技師法改正について」「違法当直を早急になくし、交替制にするには」「後継者をどう育成するか」について行いました。

働く者の権利・労働条件の改善を考えながら、安心・安全な検査業務を考えていくこの分科会は貴重な発表の場です。皆さんの職場で起きている問題を共有し、情報交換を行いましょ。また、検査技師の社会的地位向上も考えていきたいと思います。他の施設の経験を聞くことで、自分たちの施設と重ねてイメージを描くことが容易くなります。是非とも皆さんの日常の経験を報告してください。

「業務委託」や「違法当直」の問題では、厚生労働省との交渉に結び付けてきた経過もあります。患者さんの生命を守り、生命を測る検査技師としての学習と仲間作りの場として、医療研「患者のための臨床検査」の分科会にあなたもレポートや政府に対する要求をもって参加してみませんか？

思いがけない解決へのヒントや新たな挑戦への確信などがつかめる分科会にしていきたいと準備しています。職場の仲間を誘いあつてご参加ください。

◇募集するレポート

☆違法当直などの24時間勤務体制 ☆採血などの業務拡大 ☆糖尿病教室・NST・POCTなどのチーム医療 ☆ランチ・FMSなどの下請問題 ☆女性技師限定の生理機能検査など患者接遇 ☆特定健診への関わり ☆各種資格取得と手当 ☆臨床検査技師法改正について ☆検査の政策・アピール ☆これからの臨床検査・職能団体などに関するレポートを募集します。

◇分科会運営の概要

☆レポート報告と討議 ☆課題別討論 ☆交流会

◇参加の呼びかけ

初めての方でも、一人でも気軽に参加できます。それぞれの職場で起きている問題を共有し、情報交換を行いましょ。分科会終了後には「交流会」を企画しています。日常の些細な経験も気軽に話して盛り上がりましょ。